

## 猪の瀬戸湿原 野焼き実行委員会立ち上げ

保全の会として野焼き再開に向けての話し合いを10月28日に始め、11月7日と16日には保全の会役員会、その間、11月19日にはセントレジャー城島との調整会議を持ち、12月1日実行委員会準備会を開いて、12月7日、城島高原ホテルで「猪の瀬戸湿原野焼き実行委員会」設立の会が開催されました。

会議には保全の会から川野理事長、生野副理事長、小田理事ほか、児玉、渡辺新、藤内、井上千の7名が出席し、これまでの経過説明、委員会規約の審議、野焼き実施計画が話し合われ、役員には代表に川野弘人、副代表に生野喜和人、事務局長に大野正憲が選出されました。

実行委員会には環境省山本保護官、大分県から生活環境企画課の大野雄司氏、別府市から農林水産課の小林文明氏、環境課の堀英樹氏、別府市消防本部予防課の小畑雅信氏、警防課の松川克己氏、地元自治会から東山1区の阿部正氏、山岳連盟から後藤利雄氏、セントレジャー城島から佐藤百年支配人、石山裕氏、大野正憲氏、吉光靖信氏、田原渉氏ら20名が出席した。

これで、いよいよ野焼き再開に向けた組織が本格的に始動することになった。



実験区での野焼き（平成23年2月）



現地で協会職員から指導を受ける

## 林野火災防火講習会実施

別府市農林課小林補佐の助言により、12月22日、森林火災対策協会（林野庁）の山下邦博氏と西村哲男氏から現地の猪の瀬戸湿原で風の流れの捉え方と点火位置、人員配置の仕方、防火用水の確保等について具体的な指導を受けた。

当日は大変寒かったが保全の会から11名が参加して、安全な火入れ活動への意識を高めた。

難しいのは風の方向を正確に読み取ること。